

# 「ねらい」及び「内容」設定の研究（2）

## A Study of Setting 「teaching goals」 and 「content」 (No.2)

菊野 秀樹

KIKUNO Hideki

キーワード：領域環境の指導法・領域言葉の指導法・保育内容（健康）・保育内容（人間関係）・保育内容（表現）

### はじめに

研究ノート『「ねらい」及び「内容」設定の研究（1）』<sup>1)</sup>において、保育指導計画における「ねらい」は子どもの育ちであり、「内容」は育ちに向かうために経験する事項である。指導計画に「ねらい」及び「内容」を示すことによって保育実践の意図は明確になり、保育者間での評価の共有や円滑な幼小連携につながると述べた。しかし、短期の指導計画では発達の流れを理解することは難しい。発達の過程を見通し、各時期に必要な指導について理解するためには、幼児の発達を長期的な視点で捉える必要がある。

本研究ノートでは、年中1年間の保育実践事例から幼稚園教育要領<sup>2)</sup>を手掛かりに「ねらい」及び「内容」を捉え、4歳から5歳の時期において、幼児は主にどのような経験をしているか、また、どのような育ちにあるかを分析することを目的とする。

[分析対象] キリスト教保育連盟発行『キリスト教保育』保育実践事例<sup>3)</sup>を対象にした。

### [分析方法]

1. 事例<sup>3)</sup>を要約する。
2. 事例から体験、または、経験前の子どもの姿を捉える。
3. 事例から子どもの体験、または、経験を捉える。
4. 事例から体験、または、経験後の子どもの姿を捉える。
5. 幼稚園教育要領<sup>2)</sup>を手掛かりに事例から「内容」及び「ねらい」を捉える。最も関係が深いと考えられる事項を挙げる。
6. 事例から保育者の指導を捉える。
7. 5で捉えた「内容」及び「ねらい」の数について、月ごとに平均値を出す。
8. 「ねらい」(1)(2)(3)について、月ごとの数を整理する。
9. 遊びの種類について、4～9月、10～3月を比較する。8月は夏休みのため除く。
10. 事例にある子ども及び保育者の言葉の数について、月ごとに平均値をとる。
11. 4歳から5歳における経験及び育ちについてまとめる。

### [分析]

1. 要約（例4月：第289号34・35頁）

進級児康司は乗り物が好きで、空き箱やブロックでつくったり、椅子や段ボール箱で乗れるよう

にしたり、一人で黙々と遊ぶことが多い。新入児達也は康司に関心をもっているが受け入れてもらえない。康司「おーい、これも使うぞ」とテーブルをかかえてきた。達也が手伝って一緒にテーブルをベンチ前へ立てかける。二人はベンチにすわる。康司がハンドルを握る。康司がテーブルにクレヨンで数字を書き始める。保育者が「これに書けば」と画用紙を持ってくる。ナンバープレート、ライト、裏に計器やハンドルを描く。ベンチをもう一つ持ってきて後部座席にする。

雄一、泰樹「僕たちも乗せて」と後部座席に乗る。尚也「俺も乗りたい」達也が「満員だよ」と自慢げに言う。雄一、泰樹「どうしよう・・・」保育者「大きいからもう一人くらい乗れそう」雄一、泰樹が席を詰める。達也はにこっと振り返る。「どこ行く?」「中央林間さ」「イトーヨーカドーも行く?」

2. 体験, または, 経験前の子どもの姿 (例 4 月: 第 289 号 34-35 頁)

3. 体験, または, 経験 (例 4 月: 第 289 号 34-35 頁)

4. 体験, または, 経験後の子どもの姿

|             |  |
|-------------|--|
| 2. 姿        | T: 受け入れてもらえない。K: 一人で黙々と遊ぶ。                                     |
| 3. 体験<br>経験 | T: 初めて受け入れてもらえる。K: 受け入れる。U, T, N: 仲間に入ろうとする。<br>5人で遊ぶ。楽しいと感じる。 |
| 4. 姿        | T: 自慢げに自分の思いを伝える。ニコリとする。                                       |

5. 幼稚園教育要領を手掛かりに捉えた「内容」及び「ねらい」(濃い色は最も関係が深いと考えられる事項) (例 4 月: 第 289 号 34-35 頁)

「内容」

| 内容<br>領域 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|
| 健康       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |
| 人間関係     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |
| 環境       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |
| 言葉       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |
| 表現       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |

「ねらい」

|      | 1 | 2 | 3 |
|------|---|---|---|
| 健康   |   |   |   |
| 人間関係 |   |   |   |
| 環境   |   |   |   |
| 言葉   |   |   |   |
| 表現   |   |   |   |

6. 保育者の指導（例 4 月：第 289 号 34-35 頁）

|        |      |                    |                 |
|--------|------|--------------------|-----------------|
| 保育者の指導 | まなごし | 遊びが継続できるように画用紙を出す。 | 仲間入りができるよう助言する。 |
|--------|------|--------------------|-----------------|

7. 月ごとの「内容」の数（平均値）

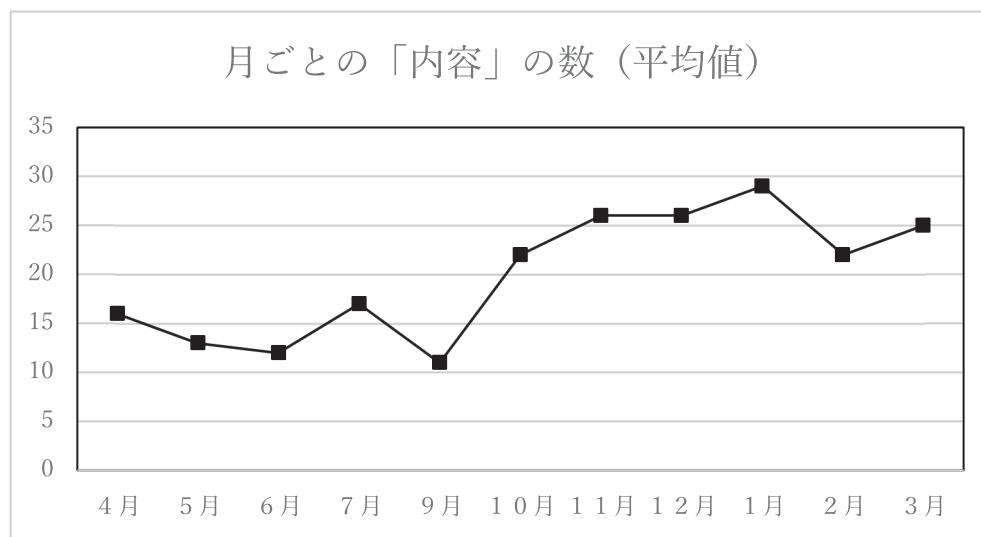
（例）（例 4 月：第 289 号 34-35 頁）

|                         | 健康 | 人間関係 | 環境 | 言葉 | 表現 | 内容計 |
|-------------------------|----|------|----|----|----|-----|
| 4 月<br>事例 1<br>(1933 年) | 2  | 9    | 3  | 3  | 3  | 20  |
| 事例 2<br>(1994 年)        | 1  | 1    | 4  | 3  | 3  | 12  |

平均 16

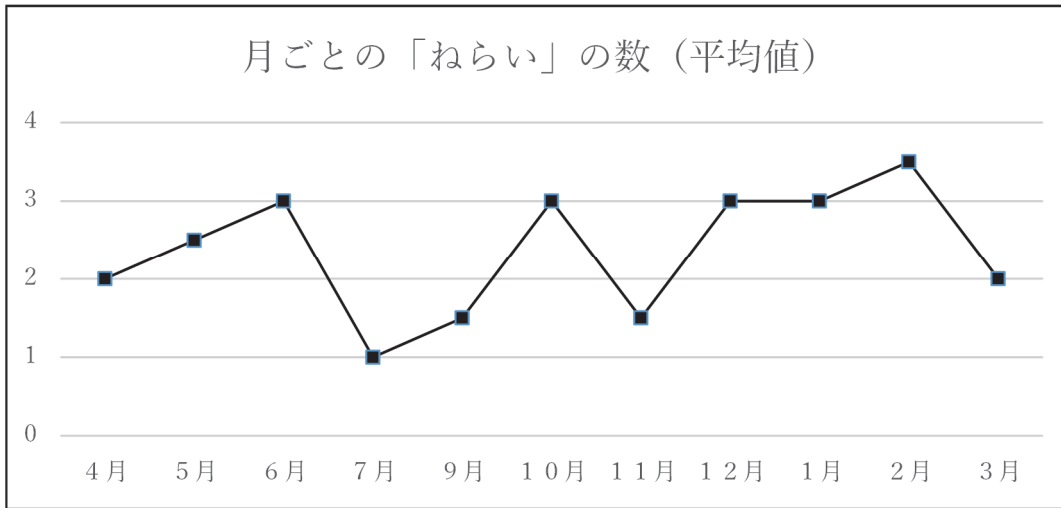
月ごとの「内容」の数（平均値）

| 月           | 4  | 5  | 6  | 7  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 内容の数<br>平均値 | 16 | 13 | 12 | 17 | 11 | 22 | 26 | 26 | 29 | 22 | 25 |



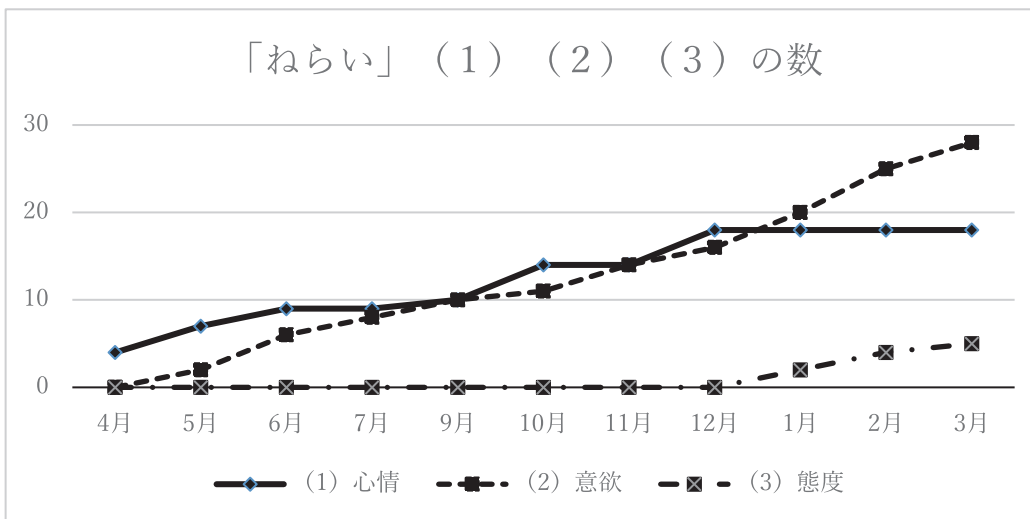
7. 「ねらい」の数（平均値）

| 月              | 4 | 5   | 6 | 7 | 9   | 10 | 11  | 12 | 1 | 2   | 3 |
|----------------|---|-----|---|---|-----|----|-----|----|---|-----|---|
| ねらいの数<br>(平均値) | 2 | 2.5 | 3 | 1 | 1.5 | 3  | 1.5 | 3  | 3 | 3.5 | 2 |



8. 「ねらい」(1) (2) (3) の数を整理

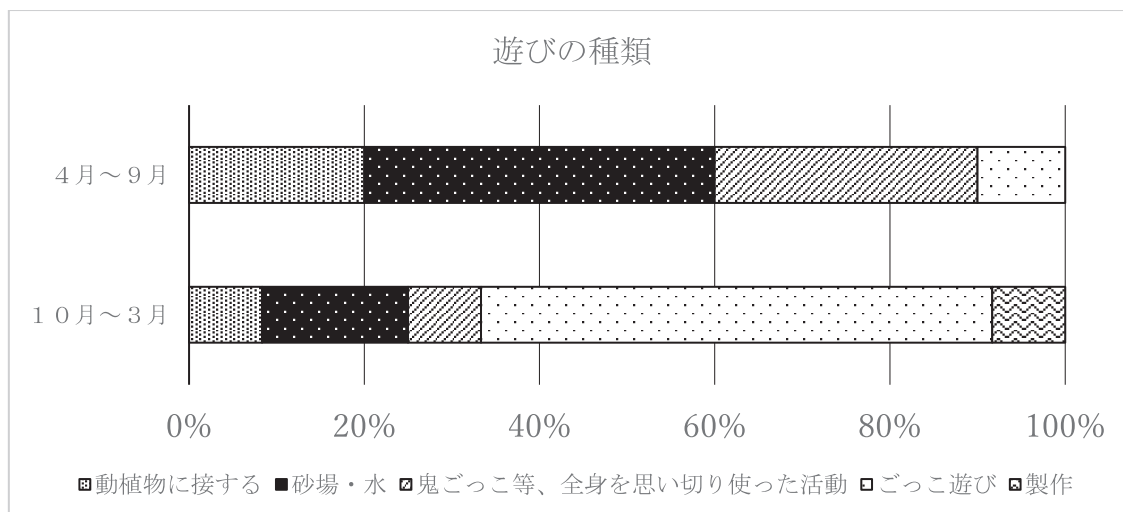
|        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| (1) 心情 | 4  | 7  | 9  | 9  | 10 | 14  | 14  | 18  | 18 | 18 | 18 |
| (2) 意欲 | 0  | 2  | 6  | 8  | 10 | 11  | 14  | 16  | 20 | 25 | 28 |
| (3) 態度 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 2  | 4  | 5  |



(数値は累積)

### 9. 遊びの種類

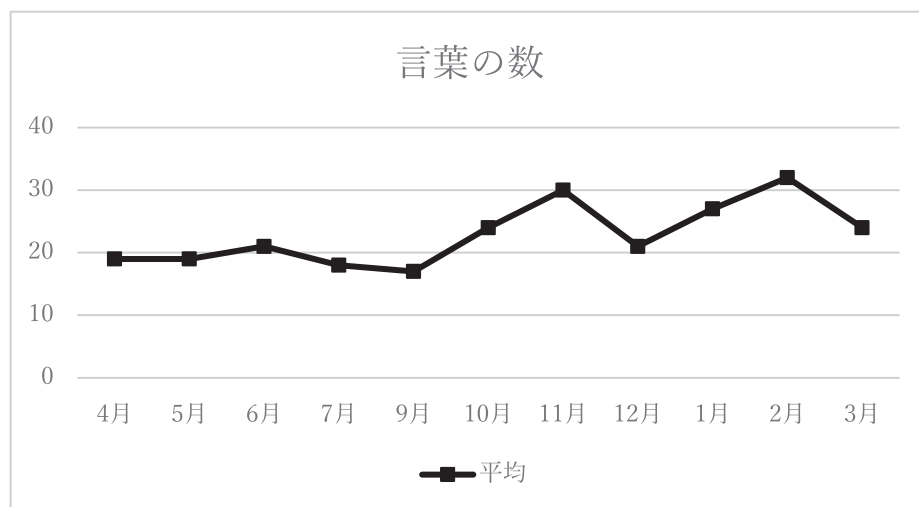
|        | 動植物に接する | 砂場・水 | 鬼ごっこ等、全身を思い切り使った活動 | ごっこ遊び | 製作 |
|--------|---------|------|--------------------|-------|----|
| 4月～9月  | 2       | 4    | 3                  | 1     | 0  |
| 10月～3月 | 1       | 2    | 1                  | 7     | 1  |



### 10. 言葉の数

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 事例1 | 15 | 17 | 22 | 18 | 16 | 20  | 24  | 15  | 20 | 30 | 40 |
| 事例2 | 23 | 21 | 20 | 18 | 18 | 27  | 36  | 27  | 33 | 34 | 8  |
| 平均  | 19 | 19 | 21 | 18 | 17 | 24  | 30  | 21  | 27 | 32 | 24 |

(小数点以下切り上げ)



## [まとめ]

「内容」の数については、10月以降が高い数値になっている。特に12月、1月、2月が高い数値である。「ねらい」の数については、1月から意欲が心情を上回っている。遊びの種類については、後期にごっこ遊びが増加している。言葉の数については、11月以降が高い数値になっている。

「内容」の増加から、経験が広がっていることが考えられる。「ねらい」が心情から意欲に変化することから、自発性が育ってきていることが考えられる。遊びの種類について、ごっこ遊びの増加から、友達関係が広がりかつ深まっていることが考えられる。子どもの言葉の数の増加から、日常生活で必要な言葉が分かるようになってきていること、また、クラスが安心して自分の思いや考えを伝えることができる集団になっていることが考えられる。

## [おわりに]

保育実践事例から幼児の経験と育ちを検証することができる。今後さらに客観的な検証となるよう分析データを増やしていきたい。

## 文献

- 1) 比治山大学・比治山大学短期大学部教職課程研究第5巻
- 2) 幼稚園教育要領 平成29年告示
- 3) 4月：第289号34-35頁，第301号34-35頁，5月：第266号28-29頁，第278号28-29頁，6月：第279号28-29頁，第327号28-29頁，7月：第268号28-29頁，第280号28-29頁，9月：第270号28-29頁，第282号28-29頁，10月：第271号28-29頁，第283号28-29頁，11月：第296号28-29頁，第284号28-29頁，12月：第273号28-29頁，第285号28-29頁，1月：第274号28-29頁，第322号28-29頁，2月：第311号28-29頁，第335号28-29頁，3月：第336号28-29頁，第360号29-30頁